

第4次中期経営計画値の見直しについて



株式会社 **アルスス物流**

(東証二部：9055)

2020年10月30日



第4次中期経営計画値の見直しについて

1. 2022年3月期 中期経営計画値の見直しについて

当社は昨年3カ年の第4次中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）を策定しました。当期（2021年3月期）は、中期計画の2年目にありますが、新型コロナウイルスの影響により、電子部品業界における荷動きが減少し、昨年策定した中期計画の前提が大きく変化しました。

2021年3月期は生産性向上によるコスト削減に取り組んでおりますが、電子部品業界における貨物取扱量が減少し、前期比減収減益を余儀なくされる見通しです。当第1四半期を底に、徐々に市況の回復を見込んでおり、国によって異なる規制に対応しながらも拡販活動に取り組んでおります。

しかしながら、中期計画3年目の2022年3月期においても、新型コロナウイルスや米中貿易摩擦の影響は依然継続するものと見込んでおり、中期計画の売上高、営業利益計画の実現は困難と判断し、以下のとおり変更いたします。

(単位:億円)	2020/3期実績	2021/3期予想	2022/3期計画 (2019年5月時点)	2022/3期計画 (今回見直し)
売上高	1,007	930	1,200	1,010
営業利益	41.1	32.0	5%確保 (ROE6%)	4%以上確保 (ROE5%)



第4次中期経営計画値の見直しについて

2. 中期計画の戦略・施策

次の戦略・施策を着実に推進することに変更はなく、グローバルにビジネスの拡大を図ってまいります。

【電子部品関連】進化する「最適物流」の領域拡大

- ・ 地域と市場・顧客2つの軸で事業を拡大
- ・ 拠点の整備とネットワーク充実に伴う先行投資の増
- ・ 生産性向上（自動化、TIE）

【消費物流】再び成長路線へ復帰

- ・ B to Cビジネスのノウハウを活かし、川上のB to Bビジネスへ拡大
- ・ 個配事業とロジスティクス事業のバランスの取れた成長

ご注意：

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。
実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。
また、本資料は会計監査対象外となっています。